



2021年3月期決算および2022年3月期経営計画説明資料

- 1 2021年3月期 決算概要
- 2 2022年3月期 短期経営計画
- 3 中計「JUMP++2021」「2つの成長戦略」の進捗
- 4 新型コロナウイルス感染症拡大による影響
- 5 キャッシュ・フローの状況 及び 分配(配当)方針

2021年5月12日

ジャパンフーズ株式会社

(証券コード 2599 東証第1部)

2 2022年3月期 短期経営計画 (1)

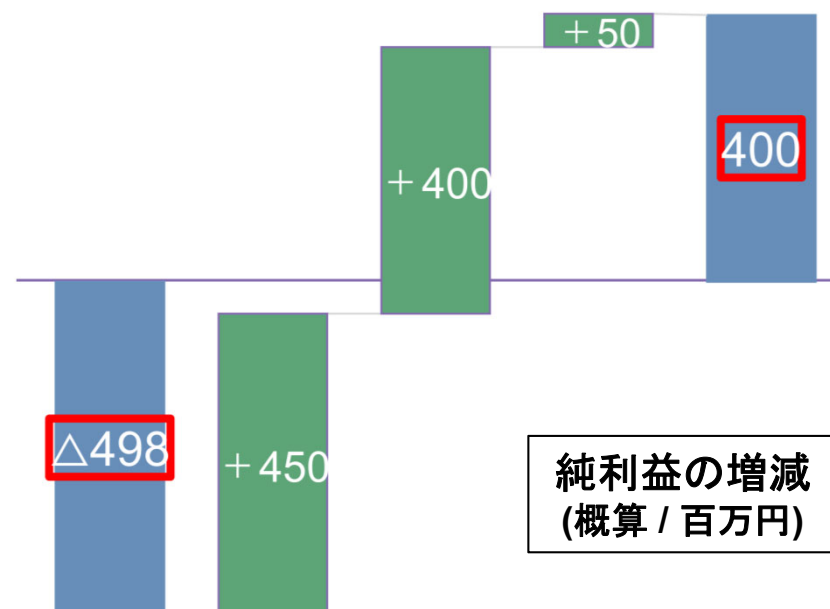
JUMP++2021
-次のステージへ-

		中期経営計画			実績 / 2022年3月期 計画		
単位：百万円		20/3期	21/3期	22/3期	20/3期	21/3期	22/3期
		連結	連結	連結	実績	実績	計画
	製造数 (千ケース)	(非公表)			42,994	32,804	41,300
P / L	営業利益	730	910	1,000	408	△750	440
	経常利益	800	1,000	1,100	458	△564	510
	純利益	550	700	750	119	△498	400
B / S	総資産	19,320	26,300	26,300	21,835	24,893	23,500
	株主資本	8,313	8,873	9,473	7,890	7,192	7,500
指 標	ROA	2.8%	3.1%	2.9%	0.6%	—	1.7%
	ROE	6.5%	7.6%	7.6%	1.5%	—	5.4%
営業CF		2,350	2,570	2,880	1,582	744	2,800
投資CF / 設備投資		△1,100	△7,000	△1,000	△2,295	△5,900	△800

2 2022年3月期 短期経営計画 (2)

JUMP++2021
-次のステージへ-

単位:百万円	21/3期 実績	22/3期 計画	増減
製造数(千ケース)	32,804	41,300	+8,496
営業利益	△750	440	+1,190
経常利益	△564	510	+1,074
連結純利益	△498	400	+898



単位:百万円	21/3期 実績	22/3期 計画	増減
JF単体(コア)	△724	260	+984
事業取込利益等	226	140	△86
ジャパンフーズ連結	△498	400	+898

21/3期 受注増加 低重心経営 前期反動 22/3期
・その他

- 新型コロナウイルスの影響緩和、新SOT缶ライン本格稼働により受注増加
- 低重心経営(変動費・固定費削減)の更なる進捗

単体・コア

【ふ・け・かの進化】

低重心経営

品質経営

「ひとが第一」
「持続可能な経営」

	アクションプラン
防ぐ (ふ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジャパンフーズ品質基準(JQS)に基づく品質改善活動の活性化 2. 工場の安定稼働による生産性の向上、最高品質の提供 3. 効率的な設備メンテナンス、予防保全の徹底 4. 新型コロナウイルス感染症の予防徹底
削る (け)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アウトソーシングの見直し、業務内製化によるコストダウン 2. 物流効率化による余剰コストの削減 3. 省エネ(ユーティリティ原単位削減)、環境への配慮 4. 生産管理機能の強化による生産効率のモニタリング
稼ぐ (か)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ渦中・アフターコロナの顧客ニーズ汲み上げ、提案力強化 2. 高効率な工場稼働による受注・生産の極大化 3. 全方位外交の進化、既存・新規顧客満足の追求

連結・事業会社

中期経営計画

実績 / 2022年3月期 計画

単位：百万円		20/3期	21/3期	22/3期	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画
連結純利益	JF単体（コア）	462	605	640	101	△724	260
	事業会社取込等	88	95	110	18	226	140
	ジャパンフーズ連結	550	700	750	119	△498	400

【各事業会社の状況・アクションプラン等】

JFウォーターサービス (水宅配事業)	Water Net (水宅配フランチャイズ事業)	TPC (海外飲料受託製造事業)
<ul style="list-style-type: none"> ■新商材の販売促進 ■自社商品販売とのシナジー ■配送エリア毎の物流効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■加盟店新規開拓による安定成長 ■生産拠点増加による物流効率化 ■JFとの人材交流加速 	<ul style="list-style-type: none"> ■業績安定、受注増加への対応 ■設備メンテナンスの効率化 ■チャイナリスク影響の極小化

3 中計「JUMP++2021」「2つの成長戦略」の進捗

JUMP++2021
-次のステージへ-

中期経営計画	単位：百万円			
		20/3期	21/3期	22/3期
純利益	JF単体 (コアセグメント)	462	605	640
	事業会社取込等 (新規セグメント)	88	95	110
	ジャパンフーズ連結	550	700	750

実績・計画	単位：百万円			
		20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画
純利益	JF単体 (コアセグメント)	101	△724	260
	事業会社取込等 (新規セグメント)	18	226	140
	ジャパンフーズ連結 (調整前)	119	△498	400
	新型コロナによる影響 (除外)	—	△1,350	△1,000
	低重心経営・コスト削減・NBM※ (除外)	—	+300	+700
	その他特殊要因 (除外)	△350	△150	—
	ジャパンフーズ連結 (調整後) =中計前提=	469	702	700

※「NBM」:New Business Model(当社ノウハウ・無形資産を活用した新たな収益の創造 及び コスト削減)

■ 特殊要因を除く「ジャパンフーズ連結(調整後)」は、ほぼ中計の目標値で進捗

4 新型コロナウイルス感染症拡大による影響

JUMP++2021
-次のステージへ-

連結純利益への影響 (単位:百万円)	21/3期				22/3期
	第1四半期 実績	上期 実績	第3四半期 実績(累計)	年間 実績	年間 計画
新型コロナによる影響	△350	△750	△950	△1,350	△1,000
(受注減少)	(△550)	(△1,170)	(△1,700)	(△2,350)	(-)
(変動経費の減少)	(+200)	(+420)	(+750)	(+1,000)	(-)

21/3期
実績

■ 21/3期は、2度の緊急事態宣言(4月、1月)による消費の落ち込みや清涼飲料業界全体における在庫調整等の影響を受け、年間を通じて受注が大幅に減少しました。

22/3期
計画

■ 22/3期も、引続き新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念は残り、消費の完全な回復は見込まれないことを前提として、当社計画を策定しております。

5 キャッシュ・フローの状況 及び 分配(配当)方針

JUMP++2021
-次のステージへ-

単位:百万円	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画
営業CF	3,054	1,582	744	2,800
投資CF	△1,146	△2,295	△5,900	△800
フリーCF (連結)	1,908	△713	△5,156	2,000
連結純利益	△335	119	△498	400
配当金	27 円	27 円	27 円	27 円

- 営業CF
21/3期は、コロナ影響で落ち込んだものの黒字を確保
22/3期は、収益回復により増加
- 配当金
コロナ禍でも安定配当(27円)を継続

「大型設備投資一覧」

13/3期	ペット無菌充填 (E) 51億円
14/3期	ペット充填入替 (T) 27億円
18/3期	ペットボトル (F) 65億円
21/3期	SOT缶 (G) 等 73億円

- 大型投資は新SOT缶ライン(21/3期)で一服、今後は近年の大型投資(左記)を磨きながら収益拡大を指向
- 営業CFは「設備更新」「配当」「借入金返済」にバランス良く分配していく方針を継続